NO．２０　炭焼きクラフト（お花炭づくり）

１　ねらい

・施設周辺の素材を活用し，創作する喜びを味わう。

２　活動の計画

（１）活動期間	４月～１１月	
（２）所要時間	３時間	
（３）活動場所	外かまど，野外炊事場 A 棟，野外炊事場 B 棟	
（４）準備物	〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
	・のこぎり ・ホットボンド：有料（様式７参照） ・薪：有料（様式７参照）	・空き缶（ふたつき） ・煙突棒（金属）　・軍手 ・新聞紙　・持ち帰り用袋 ・焚きつけ

※ホットボンドを使用する場合は「木片クラフトセット」を購入する必要があります。
※手斧（チョウナ）を使って薪割りをしない場合には、焚きつけが必要です。

３　活動について

・１グループ８～１０人が適当です。
・お花炭の作り方は別紙「お花炭をつくろう！」を参照します。
・焼くのには約１時間半かかります。焼き上がるまでの待ち時間に行う活動については利用団体で検討します。お花炭の飾り台として焼き板を行うのもよいです。
・火の強さは中火程度が適しています。缶をすっぽり包むような炎では灰になるので注意します。
・缶に差した煙突からの煙が透明に近くなると，完成間近の目安になります。

４　展開例

区　分	内　容
準備・説明 (15 分)	（１）作り方の説明を聞きます （２）道具を配布します
活動 (2 時間 30 分)	（１）炭材集めに行きます （２）炭材を空き缶に詰め，指定のかまどに運びます （３）炭焼きを始めます （４）お花炭が完成したら，かまどを片付けます （５）館内に移動し，木片や焼き板等に焼き上がった炭をつけ，飾り物等を作ります
まとめ・片付け (15 分)	（１）作品の発表会をします （２）感想発表をします

5　活動上の留意点

・活動中は走らないでください。また，坂は階段を通ってください。
・火を使います。火を扱う場面では必ず軍手をするなど，火傷をしないように注意してください。
・薪割りなど安全への配慮をします。薪は，たきつけ用の分だけを割り，すべてを細かくすることのないように注意します。

写真１　自然素材を詰めた缶

写真２　焼きあがった炭

写真３　炭（栗のイガ）と焼き板によるクラフト

NO.20　炭焼きクラフト（お花炭づくり）
（2022年3月更新）　　オーエンス泉岳自然ふれあい館

お花炭をつくろう！

①材料は，木の実，花，葉，果物，枝など
何でもよい。
炭焼き窯にはふたのある空き缶を使い，
30㎝程の煙突（金属管）も用意する。

「お花炭ってなあに？」

お花炭は五百年もの昔から茶の湯の世界などで使用され，飾り物としても愛でられ，優雅で高貴な物として扱われていました。

それぞれの地方によって独自の焼き方や秘伝の技術があったそうです。活性効果もあるお花炭は季節にあわせ素材を選びます。

壊さない限りその姿をとどめておくことができるのでインテリアとしても人気があります。

②材料に木材や枝を使うときには，缶に入るようにカットする。

③直径1㎝ほどの穴をあけておく。

④缶に材料を入れる時には，重い材料から順番に詰め，すき間はどんぐりなどでうめるとよい。

⑤すき間があくと材料が酸素と結びつき，炭ではなく灰になってしまうので注意！

⑥煙突をつけると，煙の吸い上げ効果がある。

⑦薪で熱して約1時間半でできあがり！
缶がさめてからあけよう。

⑧焼き板や，木の枝などにホットボンドでくっつけて，炭焼きクラフトの完成！

炭の豆知識

＜炭ってなあに？＞

炭を一言で言えば，木材を蒸し焼きにして作った燃料のことです。木材の主成分であるセルロースとリグニン(いずれも炭素を含む物質)が熱分解し炭化してできます。

＜炭の起源は？＞

愛媛県の鹿野川で３０万年前のヒトの化石と一緒に炭が見つかっており，北京原人の炭と共に世界最古の炭とされています。彼らの炭利用は，高温の火山灰で蒸し焼きにされた木が燃料になることを偶然発見したことから始まったと思われます。

＜炭の種類は？＞

炭は「白炭」と「黒炭」とに分けられます。
白炭は高温で均一に炭化するため硬く，叩くと金属音がします。有名な「備長炭(びんちょうたん)」は，白炭の代表的なものです。炎を全く出さずに燃えます。
黒炭は文字通り真っ黒な炭で，割れ目が多く，炭化した樹皮がついていることもあるのが特徴です。質が悪いと燃やすときに炎が出ます。茶道用の炭は黒炭です。

＜炭の使い道は？＞

燃料，土壌改良，湿度調整，消臭，鮮度保持，水質浄化，空気清浄，保温，風呂や米びつに入れるなど，多用な用途があります。実際に水源地に炭をまくことで，土壌改良や水質保全に努めている地域もあります。